

2006 年度

科目名 国文学特殊研究V	対象学科・学年 研究科国語(前)1 回生 研究科国語(後)1 回生	担当者 東 典幸
授業テーマ 柄谷行人		
授業の概要と目標 柄谷行人の評論と講演を読む。		
評価方法 後期のレポートのみ。出席はまったく重視しない。出席しておけば単位が取れるだろう、と勘違いしないように。		
テキスト 言葉と悲劇	著者 柄谷行人	出版社 講談社学術文庫
参考書 日本精神分析	著者 柄谷行人	出版社 文藝春秋社
授業スケジュール・内容 前期 1～3、第一章、言語と国家 4～7、第二章、日本精神分析ー芥川龍之介「神神の微笑」 8～11、第三章、入れ札とくじ引きー菊池寛「入れ札」 12～15、第四章、市民通貨の小さな王国ー谷崎潤一郎「小さな王国」 後期 1、 バフチンとウィトゲンシュタイン 2、 漱石の多様性ー『こゝろ』をめぐって 3、 言葉と悲劇 4、 ドストエフスキーの幾何学 5、 江戸の注釈学と現在 6、 「理」の批判ー日本思想におけるプレモダンとポストモダン 7、 日本的「自然」について 8、 世界宗教について 9、 スピノザの「無限」 10、政治、あるいは批評としての広告 11、単独性と個別性について 12、ファシズムの問題ード・マン/ハイデガー/西田幾多郎 13、ポストモダンにおける「主体」の問題 14、固有名をめぐって 15、安吾その可能性の中心		